

阿倍野区将来ビジョンでは、区のめざすべき将来像とその将来像の実現に向けた施策展開の方向性を明らかにすることが重要であると考えております。施策展開の方向性に沿って年度ごとの施策・事業の取組を運営方針及び事業計画書により明らかにし評価いただいておりますことから、将来ビジョンの成果目標欄を削除することとします。

- ① 将来ビジョンの成果目標は、数値ではなく将来のあるべき姿に向けた施策展開の方向性に重点をおくため削除とする。
- ② 引き続き、運営方針のアウトカム測定において各取組の達成状況を測っていく。

(運営方針の指標等により評価)

[illegible]

【戦略1ー2】 災害に強いまちづくり

【現状と課題】

- ・南海トラフ巨大地震は、今後30年以内に80%という高い確率で発生が想定されています。
- ・河内郡ではすべての地域において「まちなか防災訓練」が行われており、「自助」「共助」が不可欠であることは共通しつつありますが、若年層の参加率が低い傾向にあります。
- ・災害に備えて、協議の場ができていくと思う区民の割合が低い傾向にあります。
- ・町会加入率の低下などから、災害直後の地域互助に不可欠である地域住民のつながりを強化する取組が必要です。
- ・従来の自主防災組織の担い手となる若年層において、防災知識やスキルの向上が必要です。
- ・協議の場の重要性や、マンション等各中心とした在宅避難等の新たな避難方法の周知が必要です。

【今後の施策展開の方向性】

自助・共助などを通じた防災・減災の仕組みづくりとして、住民一人ひとりが家庭内備蓄など日ごろの備えに加え、地域特性に即した地域の自主的な防災の取組が実施できるような支援とともに、若年層への防災意識向上に即けた取組を優先に実施します。

また、SNSの活用等新たな情報伝達手段の拡充を図り、災害に強いまちづくりを推進します。



まちなか防災訓練の様子（4年度 東屋敷区）



防災ジュニアリーダー訓練の様子

4

[illegible]